



発行
一宮市児童育成連絡協議会
事務局
一宮市栄3丁目1番2号
尾張一宮駅前ビル4階
(一宮市社会福祉協議会内)
TEL 0586-85-7024
FAX 0586-85-7025

令和4年11月16日

ウェブサイト「一の宮っ子」<https://www.intell-inc.com/ichinomiya.jido-ren/>

子ども交流会

大志連区 D☆フレンズ子ども会

五年 水谷 奏恵

私は、6月4日に、子ども交流会に参加しました。交流会では、シャッターチャンス、せいのであつまれ、ボールリレー、風船うちわりリレー、人間コピー、空き缶積みみの6つのゲームをやりました。

私が特に楽しかったのは、人間コピーと空き缶積みみの二つです。人間コピーはグループで順番にお題の絵を10秒で覚えて、20秒で覚えた絵をかくというゲームです。私は5番目に絵をか



▲「人間コピー」記憶力が勝負！

いたのですが、自分が覚えた部分がもうかいてあったので難しかったです。

空き缶積みもグループでやるゲームで、制限時間内に、空き缶を順に積んでいくというゲームです。わたしのグループでは8缶積んだのですが、時間が来たところで倒れてしまいました。一番多く積んでいたチームは13缶も積んでいたのすごいなと思いました。

同じグループの人は、はじめて会う人達だったけど、いっしょに力を合わせてゲームをすることができました。コロナでいろいろな行事が中止になっている中、交流会に参加できてとても楽しかったです。



◀ 風船うちわりリレー

ぼくは、6月4日子ども交流会にばかりの母親と友だちと小さい妹と一緒に来ました。

浅井町連区 仲好東浅井子ども会
六年 浅井 条大

一番印象に残ったのは「空き缶積み」で、すぐ倒れてしまうのと、制限時間があつてあせるので、余計に倒れる原因でずつとハラハラしたのが、また面白かったです。

妹も楽しそうだったので、良かったです。



▲ みんないっしょで楽しいね



▲ どこまで積めるか？

スポーツ大会

神山連区 平和2丁目子ども会

六年 遠山 結依

6月12日の日曜日に、キックベース大会が行われました。コロナの中でみんなが集まって試合をするのは、ひさしぶりだったので楽しみではありましたが、少しきんちょうしました。

平和2丁目は、全員で32名の参加で低学年も多くいたので、五・六年生は小さい子たちに楽しんで参加できるようにボールのけり方や投げ方を教えたりして、フォロウをするように意識しました。上手にできたときは、いっしょによるこんで、うまくできなかったときはいっしょにくやしがり、気付いたらとてもなかよくゲームを楽しんでいました。



▲ キックベース大会

勝ち負けもとても大切ですが、それよりもみんなで協力して、おうえんし合って試合にのぞめたことがとてもよかったと思います。

6年生で私にとってこれが最後の球技大会となりましたが、来年以降もチームワークを大切に続けていってほしいなと思います。



▲ みんなで応援 元気いっぱい

北方町連区 下出子ども会

六年 鈴木 鼓大

10月30日にウォークラリー大会が行われました。北方連区全体で、設定された道のりを歩きゲームを楽しみながら歩く大会です。普段は家から学校までの



▲ ウォークラリー順路

道のりしか歩くことはありませんが、行ったことのない道のりをおじいちゃんやたくさんの人と歩きました。ポイント地点には番号があり、最初の1、二番をぼくはなかなかみつけること



▲ ゴール！おつかれさま

ができませんでした。三番でのクイズでは、「お寺の数が多い県は？」に修学旅行に奈良と京都にいったたくさんのお寺をみきたので、「京都!!」というところ。X。「愛知でした笑」。四番は秋にはよく栗ごはんを食べます

が、よく食べている栗は種だということにびっくりしました。たくさん歩いて、ぼくは龍登山宝行寺を見つけました。奈良の東大寺に似ていて、かつよかったです。ウォークラリーに参加して、北方町を歩く楽しさができたのいろいろな発見や勉強になりました。

木曽川町連区 若草子ども会

六年 小野 琴音

7月24日に仮装ボーリングが行われました。去年はコロナウィルスで、できなかったのですが、今年は無事でできてうれしかったです。

私たちのチームは、魔女の宅急便をテーマにして、私は黒ねこのジジの仮装をしました。仮



▲ 仮装ボーリング大会！

装の準備でねこ耳や衣装を買いに行ったりしました。本番の日、友だちはスキの仮装やトンぼの仮装をして魔女の宅急便になりきって、ボーリングをしました。私はストライクとスペアを1回ずつとることができました。その中でもスペアが一番最後の打球でとることができて、うれしかったです。

表彰されている子たちは、仮装のレベルがとても高くてすごいなと思いました。私たちのチームは表彰されなくてくやしかったですけど、みんなで協力して仮装したことは、小学校最後の夏休みの良い思い出になることができてうれしかったです。



▲ 雰囲気が変わって面白いね

一宮市ジュニア リーダークラブ

ジュニア リーダー紹介



▲ 貴重な経験を積もう

こんにちは、一宮市ジュニアリーダークラブです。一宮市ジュニアリーダークラブは、地域の子ども会を支えるリーダーとして、大学生以上のシニアリーダーと小学五年生から高校三年生までのジュニアリーダーの総勢約30名ほどで活動をしています。

ジュニアリーダーは、市の子ども会行事や地域の子ども会のイベントなどに参加して、司会やイベントの企画・運営・レクリエーションやKYTを通じた実技指導などを行っています。また、全国の市町村のジュニ

区ジュニアリーダー研修大会が

シニアリーダー
坂田 結音

東海北陸地区 ジュニアリーダー 研修大会

小学五年生から入会が可能です。興味のある方は、一宮市児童育成連絡協議会までぜひご連絡ください。



▲ イベントのために調査

愛知県で開催されるということで、私は実行委員会に入りました。昨年の9月頃から月に1回会議をし、というプログラムにするか、何を参加者に学んで欲しいかなど意見を出し合い、試行錯誤をして大会の成功のために努力をしてきました。

私は、プログラムを一つリーダーとして担当させていただき、立案から、プログラムの内容、資料作りまで何度も何度も会議を重ねて、1時間分のプログラムを完成させました。今まで何となく参加して楽しんでいただけのイベントでしたが、参加者が楽しみながらレベルアップができるよう、地域差や経験の差なども考慮して考えなければならなかったため、こんなに大変なんだと身染みて感じるようになりました。

私は、この実行委員会での経

験から、あらゆる面に考慮し、目的や落とし所まで考えてプログラムを組み立てるということが一番身につけることができました。今回はコロナの影響で中止になってしまいましたが、この経験を活かしていつか実際にイベントが開催できたらいなと思っています。

西尾張地区子ども会 指導者育成研修会

大和町連区
指導部長 河辺 三代

6月11日、エナジーサポートアリーナで開催された西尾張地区子ども会指導者育成研修会に参加させて頂きました。

共通全体テーマ『みんなで育てる子ども会を目指して』のもと、犬山市レクリエーション協会の方々より『コロナ禍における子ども会の安全な活動の促進』にと、いろいろジャンケン、ボッチャ、カローリング、ラダーゲッターの実演・紹介をして頂きました。

中でもいろいろジャンケンで

は、対象児童の学年に合わせて遊びの段階を変える点など、参加者が楽しめる方法を考えるよう教えて頂きました。

ジャンケン列車では、敗者は勝者の後ろについて回るだけで勝負を楽しむ事が出来ませんが、考えられたルールでは、先頭の人を負けた場合、そのチームは解散となり、後ろに続いていた人達は再度ゲームに参加出来るようになります。

少数の人が楽しむのではなく、参加者全員が楽しめる発想や工夫が素晴らしいと思いました。コロナ禍でも安心・安全に活動できるように考えていきたいと思いました。



▲ 全員が楽しめるような工夫を



新しい貸出用品が入りました!!

モルック。 ソフトダーツ



▲ モルック



▲ ソフトダーツ



▲ ソフトダーツ

子ども会の貸出用品に、今年度、「モルック」と「ソフトダーツ」が新しく加まりました。モルックは、モルック棒を投げて12本のスキットル（ピン）を倒し、得点を競う競技です。モルック棒もピンも木製で、木の良い香りがします。フィンランド発祥の競技であり、ここ最近日本でも注目されるようになってきました。ソフトダーツ

は、柔らかい面ファスナーでくっつけて遊ぶダーツです。表裏で2種類の的があり、違う楽しみ方ができます。的は60cm四方です。台座は組み立て式になっています。どちらも子ども会行事のレクリエーションにぴったりのゲームです。この他にも様々な貸出用品がありますので、興味を持たれた方は子ども会事務局までお問い合わせください。

ムです。この他にも様々な貸出用品がありますので、興味を持たれた方は子ども会事務局までお問い合わせください。



▲ 誰でもプレーできるのが魅力

表彰を受けて

一宮市表彰条例
による表彰
(15年以上在職)

葉栗連区
指導部長 後藤 千勢世

この度、市制施行100周年記念式典にて指導者として子ども会表彰を受けることができました。

これまで活動を続けてこられたのも、皆様のご指導・ご協力があったの事と深く感謝しております。

思えば我が子が子ども会での活動を始めた事がきっかけで下級生のお世話を進んで行うようになったり、手本にならなくてはと自分の行動に責任を持ち、見直すなど、成長していく姿を間近で見る事ができたことは大変感慨深く思います。

我が子が卒業してもこの活動に携わることができたのは、子ども会の素晴らしさを一人でも多くの子どもに知ってもらいたいからです。子ども会だからこそ縦社会を作る事ができる。子どもの社会で小さな摩擦を体験して、縦のつながりで心の強さを身に付け他人を思いやる心を育てて欲しいのです。

核家族化、少子化、三世代あるいは兄弟間の関わりが少なくなってきた今、子ども会活動が子どもたちの情緒形成を担う役割と期待されているので、これ

からも子どもたちの為に出来る事を考えこの活動に携わって行きたいと思っております。

まだまだコロナ禍の影響で自粛を余儀なくされ厳しい状況ではありますが、今出来る事を考えて、子どもによる子どものための子ども会を目指して行きたいと思っておりますので、今後ともお力添え宜しくお願い致します。



▲ おめでとうございます

広報委員

河辺 三代・大窪 文子
奥田 純子・赤野 ルミ子
加藤 貴美

